

町内企業ガイダンス

地元企業への理解深める



高校生に企業を紹介するガイダンスの様子

10月11日、くずまき雇用サポートセンターが主催する町内企業ガイダンスが開催され、1年生37人が参加しました。この事業は、令和2年度から高校生への地元企業などの情報提供と地域の雇用の創出を目的として実施されており、今回が4回目。觸澤義美副町長は「企業から直接話しを聞くことができる重要な機会であり、将来の職業選択の参考としていただきたい。町では、若者の定着を図るためにさまざまな取り組みを進めており、ぜひ生徒の皆さんには将来町内に就職してほしい」とあいさつしました。

ガイダンスには18事業所が参加し、それぞれの企業の概要のほか、育児休暇の取得率や働きながらの資格取得など職員への手厚いサポートについて紹介。各企業の担当者「地域への当たり前の暮らしを支える大切な仕事」、「職員

の半数近くが葛巻高校の卒業生」など、仕事のやりがいや職場の雰囲気についても詳しく説明しました。生徒たちは、メモを取りながら真剣に聞き、「仕事をすすめる上でどのような資格が必要なのか」や「商品を生産する際に出る廃棄物をどう処理しているか」など質問。積極的に情報収集を行い、「新たに興味を持った職業があり、夢や視野が広がった」、「一つの会社の中にもさまざまな役割があり、自分に合うものを見つけられそう」など感想を述べ、地元企業への理解を深めていました。



企業の説明を熱心に聞く生徒の皆さん

わたしのベーグル食べてみませんか？

くずまきDMO若者高校生部会（通称「ばず部」）で活動する樋口和桜さん（1年）は11月5日、町家旧遠藤邸（新町）で手作りのベーグルのお振る舞いを行いました。

山村留学生の和桜さんは、寄宿舎で5種類40個のベーグルを焼き、旧遠藤邸を訪れた人に味の違いを説明しながら手渡しました。和桜さんは「料理は苦手だったが寄宿舎のみんなに食べてもらううちに自信がついた。たくさんの人に喜んでもらえて良かった」と笑顔を見せていました。



手作りのベーグルを並べ笑顔の和桜さん

卒業後も

町とつながろう

11月4日と5日、町家旧遠藤邸（新町）などで行われた若者関係人口創出事業「もつとくずまき2023」に葛巻高校の卒業生5人が参加しました。（関連記事4・5ページ）

遠藤京多さんと菅野貴大さんは事業の主体メンバーとして6月から参加し、酒多剛大さんと杉本怜菜さん、千葉紗羅さんは、イベントの前日から3日間、ともに事業を運営しました。卒業後も町と関わり続ける活動をした5人の先輩の感想と、葛巻高校の後輩の皆さんへのメッセージを紹介します。（五十音順）



事業に参加した卒業生の（左から）遠藤京多さん、酒多剛大さん、菅野貴大さん、杉本怜菜さん、千葉紗羅さん

▽遠藤京多さん（茨城大学3年）

さまざまな企画で参加者の皆さんに「居心地が良かった」と言ってもらえて嬉しかった。町で何かをやってみたい高校生や皆さんのいたら、今後一緒に地域を盛り上げていきたい。

▽酒多剛大さん（岩手大学3年）

多くの大学生が町に興味を持ち集まってくれて嬉しかった。町出身の学生にもつとこの活動の情報が届いてほしいと思う。後輩の皆さんには、まず一度地域のことに参加してみたい。

▽菅野貴大さん（岩手大学1年）

活動を通して自分のやってみたいことが意外と成功するものだと感じた。高校生の皆さんは、周りの意見よりまず先に自分がいかにやりたいか、その気持ちを意識すると良いと思う。

▽杉本怜菜さん（東北学院大学3年）

新しい企画で新鮮な気持ちで町に関わることができて良かった。今、葛巻には総合的な探究の授業や「ばず部」があるので、後輩の皆さんには自分のやりたいことを実現するチャンスと捉えてその機会を生かしてほしい。

▽千葉紗羅さん（岩手県立大学1年）

事業に参加し、もう一度地元の町を知り、人につながる機会になった。葛巻町は世代間交流がしやすい町だと思うので、後輩の皆さんには新しいコミュニティにどんどん入り、小さなチャレンジを継続してほしい。



高校生記者レポート



丸山晃奈（2年）
町の人たちに会って「広報読んだよ」と声を掛けてもらって嬉しいです！

総探の相互発表会

先日、2年生が軽米高校で総合的な探究の時間の相互発表会を行いました。総合的な探究の時間は「総探」と呼ばれ、水曜日の6、7時間目に授業があります。福祉・交通・観光など、生徒が興味のある分野で、葛巻のために貢献できることを探究していく時間です。模試や大会に追われながら、メンバーで協力し、約1年間続けてきた探究の活動報告の発表準備をしました。

相互発表会では、自分たちの発表はもちろん、他のグループ、軽米高校の発表などから刺激をもらい、自分たちにはないアイデアを吸収し、それをどう生かすかを考える有意義な時間になりました。時間がなくて仕上げた達

成感で、みんな満足した表情でしたが、帰りのバスでは疲れがあふれたように寝ている人も多かったです。これからも2年生の探究活動は続いていきます！葛巻町のために自分たちができるところを考え続けていくので、応援よろしくお願いします！！



軽米高校での発表の様子